

# 戦争、人間、自然をテーマに 京都シネマでドキュメンタリー7作品

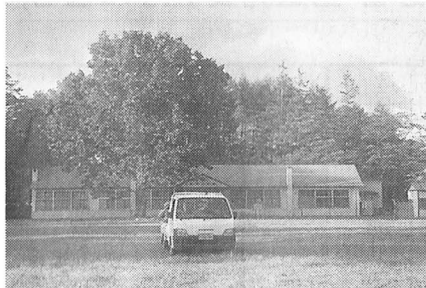


「アメリカばんざい」

7月11日から8月28日まで、京都市下京区の京都シネマで連続して、日本人監督によるドキュメンタリー映画7本の上映を行います。

戦争や人間と自然をテーマにした見ごたえある作品が並びます。

『ひめゆり』は、沖縄戦に動員されたひめゆり学徒隊の生存者の証言



「空想の森」空想の森上映委員会

を、13年にわたって取材して、完成させた力作。ひめゆり学徒はこれまで何回か映画化されていますが、生存者らの証言を基にしたドキュメンタリーは初めてです。

『アメリカばんざい』は、イラク戦争に送られ戦死した若者がどんな経験をし、どんな今を生きているのか

を描きだします。

監督の藤本幸久さん(55)は、米国内のブートキャンプで30日間の長期取材を行いました。「大学の奨学金目的で入隊した若者が、1カ月の訓練で、戦場に送り出され人殺しをするんです。貧困・格差と軍隊が表裏一体となっている事実を見てほしい」と語ります。

『空想の森』は、北海道のさびれたある地区で、京都や大阪から移住してきた2家族が、大自然と格闘しながら農業で暮らす日々の生活を映し出しています。

デビュー作となった作品について監督の田代陽子さん(41)は、「土にまみれて働く姿や、毎日食卓を囲む家族の姿からは、都会にはない人間らしさがあふれています。ぜひ、見てください」と話します。

このほか、人間と自然との共存を問いかける『バオバブの記憶』などが上映されます。



作品と上映開始日時は以下の通りです。

○『半身反義』11日～17日\*  
○『空想の森』18日～24日 連日午前10時  
○『バオバブの記憶』25日～8月7日\*  
○『島の色静かな声』8月1日～7日\*  
○『ひめゆり』8日～14日\*  
○『We命尽きるまで』15日～21日\*  
○『アメリカばんざい』22日～28日\*

\*は上映時間未定で、京都シネマ(☎075・353・4723)に問い合わせを。読者に、8月末までの入館券をプレゼント。応募方法は、6面の文化ガイド参照を。